

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和2年3月1日

事業所名：レインボーキッズ・メソッド(丹原)

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	100%				89%	7%		4%	子供に合わせたスペース(個別)を用意してくれている。	
	2 職員の適切な配置	100%				78%	7%		15%	スタッフの経歴がわからない。	できるだけ、行事や活動内容に応じて人員の配置に配慮できるように努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	86%	14%			96%			4%		今後も研修会や学習会などを通して知識を広げて配慮した環境を整えていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	86%	14%			93%			7%	なかなか、室内を見る機会が無いのでよくわからない。	モニタリングなどの機会に室内を見てもらいながら、現在の児童の様子などを伝えていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画		100%			/	/	/	/		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		100%			/	/	/	/		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	100%				/	/	/	/		感染対策、接遇、支援に対する学習会等を全スタッフが受けられるように機会をつくる。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100%				85%	11%		4%	利用日数も少ない中、よく見て下さっているなと思いました。また、話を聞かせてもらいたいと思っている。	個々の支援課題が違ってくるので、その児童らしさを大切にして、利用者のニーズを引き出し、それを計画書に反映できるように努める。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	100%				86%	7%		7%		
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	100%				/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見		
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	100%										
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	29%	71%		毎月1回は全体ミーティングで話し合いの場を設けている。							全体ミーティング以外でも必要に応じて話し合いの場をつくっていく。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	100%			レクリエーションカレンダーを作成して計画を立てて活動を実践している。	78%	7%	4%	11%	子供は、毎月送ってくる月の内容のプリントを見る事を楽しみにしている。		
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	14%	86%		細かく決めている時もあるが、できていない時もある。							支援計画を確認しながら、具体的な支援をかかげて、実践したことを振り返る機会もつくって、次に活かせるようにする。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100%			必ず、昼礼などを行って、支援の確認を行っている。							朝礼などを継続して行いながら、業務日誌などに確認事項を記載し、振り返りができるようにしていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	29%	71%		職員の退勤時間が異なるため、共有できる工夫をしていかなければならない。勤務時に日誌などを確認して共有出来るようにしている。							終礼などを継続して行い、振り返りを行う中で今後の支援についても検討する。また、スタッフ間で共有するために日々の業務の中で話し合っている職場環境を作っていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	57%	43%									定期的な、今できている内容を確認し、意識継続できるように努める。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	86%	14%									
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	100%										
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			100%	現在は、該当するような児童は利用していない。							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			100%	現在は、該当するような児童は利用していない。						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	100%									継続して積極的に関係機関と連携を行う。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	100%									継続して積極的に関係機関と連携を行う。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	100%									
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			100%		26%	11%	15%	48%	・交流は無いかなと思っている。 ・そのようなことを期待しておらず、必要性を感じない。	利用者からのニーズを考えながら検討していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			100%							
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	100%				93%	7%			利用者負担とは？	相談しやすい環境作りを行い、丁寧な説明を行っていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	100%				89%	7%	4%			
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施			100%		37%	11%	7%	45%	勉強会、ありがとうございます。	まずはペアレント・トレーニングの知識を身に付け、講習会などを通じて実践できるように取り組む。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100%				93%	7%			支援計画書作成の前段階で懇談をしてもらい、ありがとうございます。	継続して、日頃から利用者との関係性を築けるようにコミュニケーションを取りながら、情報提供をお互いにとれるように努める。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	100%				89%	11%			・勉強会等で話を聞いてもらえてありがたく思っている。 ・子どもたち自身で問題の解決ができるように大人は見守る余裕を持たなければならないと思っている。	日頃から利用者との関係性を築けるようにコミュニケーションを取りながら、情報提供をお互いにとれるように努める。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援			100%		15%	19%	22%	44%	以前は年1回程度、保護者の方々と会合のようなものがあり、案内もありましたが近頃は無いように思います。	利用者からのニーズを考えながら検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100%				48%	11%		41%		できるだけ迅速に対応できるように、報告・連絡・相談を徹底し、担当者を中心に速やかに対応を行う。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	100%				86%	7%		7%		現在取り組んでいることを継続して情報伝達を行っていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	100%				74%			26%		
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	100%				89%			11%		今までと同様に、定期的に個人情報の取り扱いに関してスタッフに発信していく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	100%				63%	11%	7%	19%	どのような対策、対応をしてくださっているのかきいたことがなかった。	今後、どのように発信していくか工夫をしていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	100%				74%		7%	19%	最近は無いように思います。	訓練の定期的な実施と実施内容について、口頭だけではなく他の方法でも発信できるようにする。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応 (続き)	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	100%				/	/	/	/		継続した委員会の話し合いなどを実施し、関係機関との連携を深めながら情報共有を行っていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	100%				/	/	/	/		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	100%				/	/	/	/		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100%				/	/	/	/		継続して定期的な話し合いを行い、委員を中心に会社全体で共有できるように努める。